**にいがた協同ネット２０２０年度　第３回運営委員会議事録**

1. **開催日時：2020年9月24日（水）15：00～17：00**
2. **開催会場：新潟市西区　ささえあい生協会議室（Web会議）**
3. **参加者：別紙、参加者名簿の通り**

　　渡邊共同代表より協同労働の農村における取り組みは有効に考えられる、また、新潟大学における寄付講座はオンライン授業となっており大学で授業をやるが、県外の講師は夫々の場所から講義してもらう予定である旨の挨拶が合った後、高見副代表が座長を務め開会した。

1. **議事**
2. **協同労働推進ネットワーク全国交流会参加について**
3. 労協連田嶋専務より全国交流会の開催趣旨と情勢報告について

　・国会は10月下旬開催の見通しもあるが、解散含みで流動的である、次期国会での法律制定を確実にしたい。10月8日に超党派の院内集会を開催する計画になっている。

　・全国交流会の開催趣旨は、各地で開かれた全国集会の後継組織等が全国に10か所出来ており、お互いの活動の交流を図ることで法制定後における協同労働の働き方を広める運動としたい。

　・現在、議連メンバーにお礼を伝え今後の活動への協力を要請する行動を行っている。

　・福岡県久留米大学の学生300人程が生活困窮にあり支援活動が行われているほか、千葉では公明党議員団が現場視察に来ている、また、埼玉でも連合・労福協が県に対する政策要求を行っている。

1. 交流会参加態勢について

　・参加集約を後日行うので、予定会場のささえあい生協本部に集合する。

1. 取り組み報告の作成について

　・江花共同代表が「協同の発見」誌に掲載した活動報告をもって報告書に代えることとした。

1. **労協法制定後の具体的取組について**

高見副代表からの「報告と問題提起」について

・高見副代表より、別紙、「報告と問題提起」に基づき、具体的な説明と問題提起があった。

この中で、JCAが提起した2030ビジョンを達成するための課題において、想定中のNCAの具体的な方向性についての考え方が示された。

・関連して労福協間専務より、検討中の県に対する政策要請書の内容について説明があった。

＜主な意見＞

・江花共同代表より、新潟県として中間支援組織の用意を検討して欲しい、先ずは協議の場づくりと予算付けが必要。

・間副代表より、知事の意向としては担当部署と意見交換してほしい。

・田嶋労協連専務より、知事がどの部署に担当させるかはこれからのことだ。

・岡田委員より、明日開催の県生協連理事会に要望を伝える、日生協の学習会の案内があった。

　また、事業と運動に対する理解不足はいつの時代でもあった、数多くやるしかない。

・石坂委員より、「人新世の資本主義…齋藤幸平著」の紹介あり。

・渡邊代表より、学生には労働組合は理解できない・分らない、正規・非正規は関心が高く働くことを教えると分かり易い。JAは分るが農協は知らない。

1. **情報交換**

・JA南蒲吉田文彦会長との会見について高見副代表よりフードバンクの活動に対する協力・理解にとどまらず、今後の協同ネットの活動に期待が持てる旨の報告があった。

・

以上で第３回運営委員会を終了した。

以上（文責:中村）